



Title	北海道大学所蔵道北地方収集考古資料 全一冊
Author(s)	澤井, 玄; 中沢, 祐一; 矢原, 史希
Citation	澤井玄,中沢祐一編集; 澤井玄,中沢祐一,矢原史希執筆
Issue Date	2019-03-29
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77729
Type	book
File Information	00Artifactsnorthern Hokkaido_all.pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学所蔵
道北地方収集考古資料

An Illustrated Catalogue of the Prehistoric
Artifacts from northern Hokkaido, Japan



HOKKAIDO
UNIVERSITY

平成 31 年 3 月 札幌

March 2019

Hokkaido University

Sapporo

例 言

1. 本書は、北海道大学に所蔵されている北海道北部地方（道北地方）の遺跡より収集された先史考古学資料のカタログである。
2. 本書に掲載した資料の整理作業は、2018 年度（平成 30 年度）に北海道大学大学院医学研究院人類進化学教室が行い、澤井 玄、中沢祐一、矢原史希が従事した。
3. 整理作業の主たる分担は下記である。
遺物分類：澤井、矢原、中沢 写真撮影：矢原 図版作成：澤井、矢原
遺物実測・計測：澤井、矢原
4. 本書の編集は、澤井・中沢が担当し、執筆は澤井、中沢、矢原が分担した。
5. 遺物写真の縮尺は、4/5 を基本とし、一部は 2/3 および 1/2 である。ラベル類の写真の縮尺は、2/3 および 1/2 である。
6. 遺物の計測値は、mm および g 単位で属性表中に示している。
7. 本書掲載の資料は、北海道大学大学院医学研究院人類進化学教室にて保管している（2019 年 3 月現在）。
8. 本書作成に関わる整理作業において、以下の諸氏・諸機関から有益なご教示とご助力を頂戴した。記して御礼申し上げます。（五十音順、敬称略）

天野哲也 乾 茂年 氏江敏文 江田真毅 大泰司統 小野裕子 熊木
俊朗 齊藤譲一 榊田朋広 坂本尚史 瀬川拓郎 高島孝宗 種石 悠
長沼正樹 林 勇介 北海道大学大学院医学研究院 村本周三

目 次

1. 北海道大学所蔵・道北地方の考古資料について	
(1) 収集年代・収集地	1
(2) 土器資料の内容	3
2. 遺物 ID について	5
3. 図版	7
PLATE 1～17 (遺物)	8
PLATE 18、19 (ラベル類)	38
4. 表	40
表 1 土器属性表	40
表 2 石器属性表	42
表 3 動物遺存体属性表	43
表 4 礫属性表	44
5. Summary	45

1. 北海道大学所蔵・道北地方の考古資料について

(1) 収集年代・収集地

今回報告する北海道大学医学部所蔵の道北地方各地の考古資料は、北海道大学医学部の児玉作左衛門博士および大場利夫博士らによって収集された遺物である。この資料は、これまでのところ何れの形でも公表されたことが確認できない未発表資料と考えられる。また、遺物に伴うバックデータが失われているため、周辺情報からの推定となる。

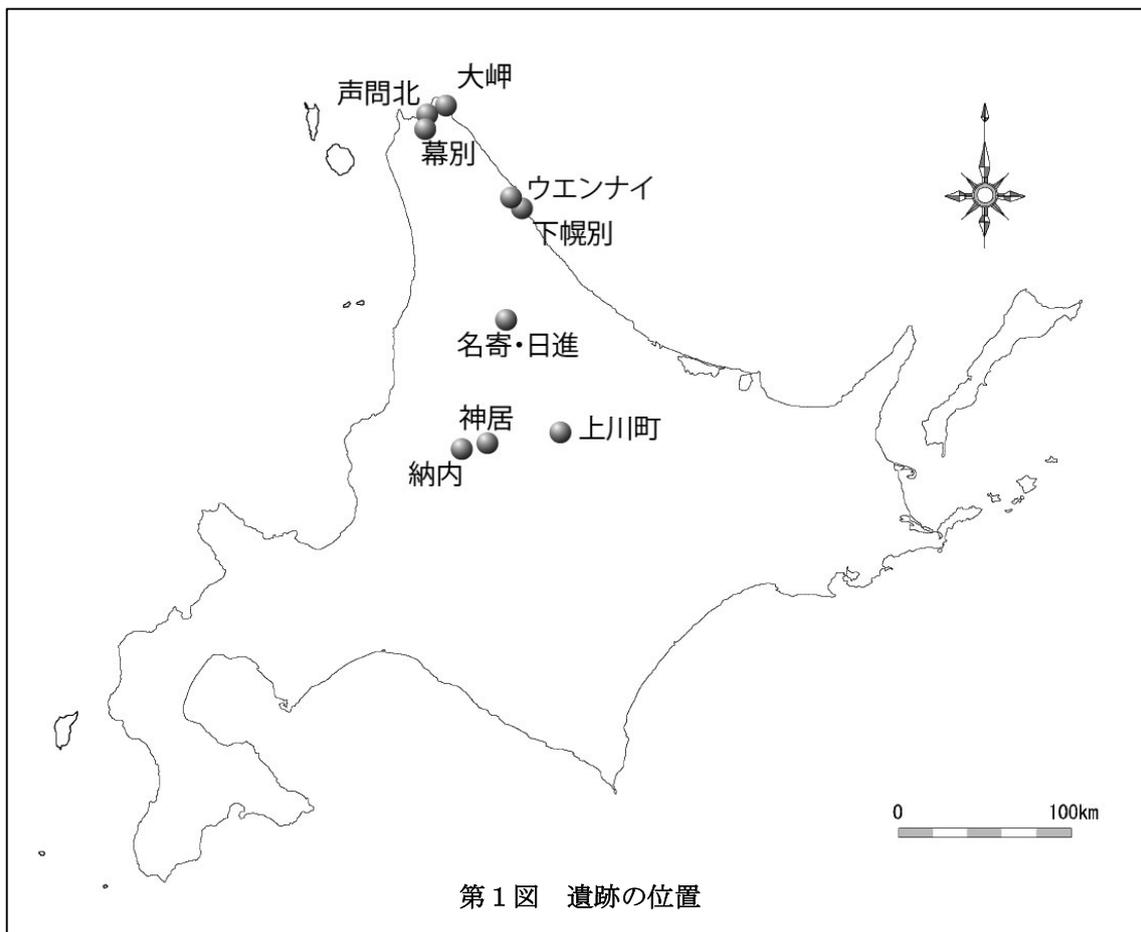
① 収集年代

収集年代は大半が不明であるが、一部の資料に「6.5.3」「6.5.9」といった注記ラベルが貼付されている（『神居村堅穴』土器資料）。昭和6（1931）年5月3日または同年同月9日の収集資料とも考えられる。また「名寄」資料中に「名寄 昭和二十三年（1948年） 稲葉より購入」のラベル（PLATE18）が添えられている。この他、昭和42（1967）年4月5日付朝日新聞の紙片が枝幸町収集資料に含まれる。児玉博士は昭和34（1959）年に定年退官し、また大場博士は昭和41（1966）年に文学部に新設された北方文化研究施設に異動している。そのため、この医学部所蔵資料は遅くとも昭和41年以前に収集されたものと考えられ、この新聞紙片は改梱されるなど何らかの理由で、後から資料中に入ったものと推定される。

② 収集地

収集地は、「神居村堅穴」（PLATE1～2）は旭川市神居古潭周辺、「納内」（PLATE3）は深川市納内周辺と考えられる。両者は行政界によって区切られているが、いずれも石狩川右岸に連続的に所在する大規模な遺跡群に位置している。「名寄」（PLATE4～7）・「日進」（PLATE8～10）は現在の名寄市と思われる。このうち日進については天塩川の支流である名寄川左岸から天塩川に合流する一帯に多くの遺跡が広がっており（日進1遺跡～日進20遺跡）、そのいずれかの資料である可能性がある。「上川」（PLATE11～13）は今回報告する一連の資料の地域性から行政区分上の上川郡のいずれかと思われるが詳細は不明である。他の資料がほぼ旭川市以北であることから、この「上川」資料も旭川市以北の可能性が高い（第1図においては現在の上川町を示した）。「幕

別」・「声問北」（いずれも PLATE14）・「大岬」（PLATE15）は稚内市と思われる。幕別は現地名としては存在しないが、現在の稚内市声問村恵北に、かつて幕別町が存在（1963年に恵北と改称）し、旧国鉄北見線の幕別駅もあったことからこの周辺と考えられる。既知の遺跡として周囲には恵北1・恵北2・恵北3遺跡が所在する。「声問北」は出土土器（続縄文土器）から現在の声問川大曲遺跡である可能性がある。「大岬」は稚内市宗谷岬東側の大岬1・大岬2遺跡周辺が考えられる。「下幌別」（PLATE16）・「ウエンナイ」（PLATE17）は遺物の注記および貼付ラベルよりそれぞれ枝幸町内を流れる幌別川河口付近・枝幸町宇遠内と思われる。この他、出土地不明の土器資料が1点ある。



(2) 土器資料の内容

本資料のうち土器について概要を記す。

① 神居村竪穴 (PLATE1・2)

神居村竪穴 (1201-1-1-99-99-1~5) 資料はいずれも擦文土器である。1 はハケメ調整の上に多条の横走沈線が斜位・縦位に施文され、複段の文様帯を形成する。内面は黒色処理されている。擦文文化後期の土器である。2、3 は無文であるがハケメ調整・胎土・焼成・内黒処理などから擦文土器と考えられる。4 はハケメ調整の上に横位の平行沈線文を施し、その後、縦位に近い斜位の沈線で山型文を形成する。擦文中期の土器である。5 は擦文土器の底部である。胴部下端はハケメ調整。底部はササと推定される圧痕がある。

② 納内竪穴 (PLATE3)

納内竪穴 (1202-1-1-99-99-6~10) 資料はいずれも擦文土器と推定される。6 は無文の口縁部。内面は横ミガキ、外面は縦ハケメの後に横ミガキが施されている。7 も口縁部。口唇直下に横方向の凹帯を2条施し、間の凸帯上に刺突~短刻文を連続して施す。下位は斜格子文が施文される。擦文文化後期。8 は胴部。縦横のハケメ調整の後、2条の平行沈線で大きな連続山型文を描き、その下端を同じく平行沈線文で無文部分と区画する。擦文後期。9 は口唇部を欠く口縁部。内面は横ミガキ。口唇直下に1条の沈線を巡らせ、その下位に粗雑な連続山型文を描く。擦文後期。10 は胴部。内面は横方向のミガキ、外面は縦方向のハケメ調整を施した後、やや粗雑な多条の横走平行沈線文を施す。外面に1箇所ボタン状貼付けがある。擦文前~中期か。

③ 名寄 (PLATE4)

名寄 (1203-1-99-99-4-11~26) の資料について記載する。11 は口縁部。口唇部は指頭?で押し小波状を呈する。口縁部は肥厚する。口唇直下に3条の平行沈線を巡らせる。地文はLRの縄文。口唇直下に穿孔あり。縄文晩期 (タンネトウL式)。12 は口縁部。菱形と長方形の押型文を沈線で区画して複段に施文。口唇上面にも菱形の押型を施文する押型文土器。口縁部肥厚帯直下に径7mmの穿孔あり。縄文前期後半。13 は胴部。縞縄文をほぼ縦位に施文する。続縄文土器

か。14 は胴部。縄文原体は RL。中期前半の円筒土器か。15 も胴部。径 5 mm 程度の竹管状の施文具で全面に規則性無く刺突文が施される。縄文前期後半か。16 胴部。風化が著しいが縄文原体は RL? の斜行縄文が施される。縄文中期末葉の北筒Ⅱ式（トコロ 6 類）か。17 は無文もしくは風化が著しく文様を認識できなかったが、胎土・焼成から縄文土器と思われる。18 は胴部に LR の縄文が付される。北筒Ⅱ式（トコロ 6 類）か。19 は胴部破片。撚り糸文を施した後、方向を変えて同じ原体で施文する。縄文早期（東釧路Ⅳ式）か。20 は内外面ともに縄文を付す。器壁が厚く大型の土器と推定される。縄文前期か。21 は縦 3 列×横 4 列を単位とするかと思われる刺突文が付される。縄文前期か。22 も刺突文が付される。前期か。23 は底部である。やや上げ底の底面に縄文が付される。縄文晩期か。24 は擦文土器の胴部上半。沈線による斜格子文を付し、上下を 2～3 条の横走沈線文で区画する。擦文後期。25 は無文の胴部。外面に縦ミガキが認められる。擦文文化後半か。26 も無文の胴部。外面に縦ハケメが認められる。擦文土器。

④ 日進 (PLATE8)

日進 (1203-2-99-99-99-33～42) の資料について記載する。33 は口縁部の破片である。2 本を 1 単位とした沈線が横走、湾曲、垂下するなどして描かれる。主として北海道南西部に分布する縄文後期の入江式土器の可能性がある。34 は口縁部破片。無文でナデ調整が施される。縄文土器か。35 は口縁部。口唇部上面に刻み目を施し、無文帯の下に縄文を付す。縄文晩期（タンネトウⅠ式）。36～39・41 は胴部破片。縄文は RL。内面はナデ調整。胎土は緻密。縄文晩期前半か。40 は無文。ナデ調整。縄文後期以降か。42 は LR の縄文。縄文前期から中期頃か。

⑤ 幕別・声間北 (PLATE14)

1404-1-1-1-99-52 は口縁から胴部にかけての破片である。頸部がやや縮約し、肩が緩やかに張り出す甕型土器である。口唇付近に水平に近い斜行刻文、口唇直下に円形刺突文が付され、肩部に円形刺突文と沈線を交互に組み合わせた文様帯が横走する。文様はオホーツク土器の十和田式に一致するが、器形が後続する刻文式に類似してくることから十和田式の後半段階に位置づけられる。1404-1-1-1-99-53 は無文の破片である。胎土・焼成などからオホーツク土器と推定

される。(参考：天野哲也・中沢祐一「オホーツク文化前期の集団関係―「幕別A地点」の土器から―」『実証の考古学―松藤和人先生退職記念論文集―』(同志社大学考古学シリーズXⅡ)2018)。
1404-2-99-99-99-54 はやや大きめの胴部破片。口縁部近くに突瘤文が確認できる。器面にLRの地紋。縦位に平行する2条、またその下端から直角に擬縄貼付文を配す。続縄文土器の宇津内Ⅱa式。

⑥ 下幌別 (PLATE16)

下幌別(1406-1-99-99-99-59~61)の資料はいずれも擦文土器である。59は無文の胴部破片。胎土・焼成などから擦文土器と思われる。60は高杯の脚部。外面はハケメ調整、内面を黒色処理。高台の底面3カ所に幅3mm・深さ7~8mm程度の切り込みを付す底面刻印を有する。擦文文化後期。61は杯?の破片。ハケメ調整の後に、沈線による綾杉文が施され、その下端を斜行短刻線文によって文様帯が区画される。擦文後期。

⑦ ウエンナイ・不明 (PLATE17)

1406-2-99-99-99-62は胴部破片。地紋はRLの縄文。2条の平行する擬縄貼付文がダイヤ型?・また横方向に付される。外径14mm内径6mmの穿孔がある。続縄文文化の宇津内(Ⅱb?)式。
1406-2-99-99-99-63は口縁~胴部上半。口唇部に刻み目、口縁直下に水平方向3列の貼付文を施しその上に列点を付す。貼付文の下から縦位に帯縄文を付す。径7mmの穿孔が施される。続縄文文化の後北C2-D式。

9999-99-99-99-99-64は胴部破片。内面は黒色処理され、外面はハケメ調整。胎土・焼成などから擦文土器の高杯の可能性はある。

2. 遺物IDについて

個別の遺物には、資料登録のためのIDをつけている。遺物IDは6種類の項目からなる。それぞれの項目ごとにコード化し、組み合わせている。第1表に、IDを構成する6種類の情報の詳細を示す。第2表に道北地方収集遺物のID情報の詳細を示す。

第1表 遺物 ID の種類

	意味
地域	資料が由来する遺跡が位置する市町村名。
地区	資料が由来する地区。現市町村の中に含まれる。
遺跡	資料が由来する遺跡の名称。もしくは、資料が収集された場所の資料収集時の名称。
地点	資料が収集された遺跡の中の地点。
コンテキスト	資料がどのような経緯（発掘、表面採集、購入など）で収集されたかを示す。
遺物の通し番号	上記5種類の情報の下に含まれる遺物の番号。

第2表 道北地方収集資料の遺物 ID の種類

地域名	地域コード	地区名	地区コード	遺跡	遺跡コード	地点	地点コード	コンテキスト	コンテキストコード
旭川市	1201	神居	01	神居村竪穴	01	不明	99	不明	99
深川市	1202	納内	01	納内竪穴	01	不明	99	不明	99
名寄市	1203	名寄	01	不明	99	不明	99	購入	4
名寄市	1203	日進	02	不明	99	不明	99	不明	99
上川町	1204	不明	99	不明	99	不明	99	不明	99
稚内市	1404	幕別	01	幕別	01		01	不明	99
稚内市	1404	声間北	02	不明	99	不明	99	不明	99
稚内市	1404	大岬	03	不明	99	不明	99	不明	99
幌延町	1405	不明	99	不明	99	不明	99	不明	99
枝幸町	1406	下幌別	01	不明	99	不明	99	不明	99
枝幸町	1406	ウエンナイ	02	不明	99	不明	99	不明	99
不明	9999	不明	99	不明	99	不明	99	不明	99

図版
PLATE

PLATE 1-a

神居村豎穴



1201-1-1-99-99-1



1201-1-1-99-99-2

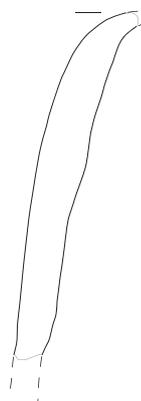
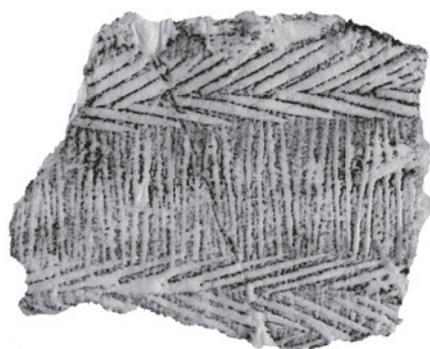


1201-1-1-99-99-3

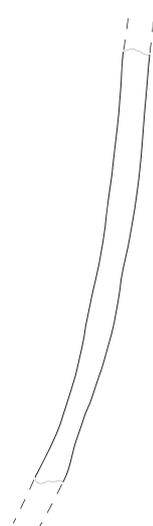


PLATE 1-b

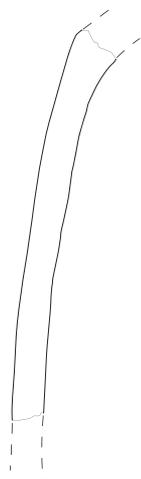
神居村豎穴



1201-1-1-99-99-1



1201-1-1-99-99-2



1201-1-1-99-99-3



PLATE 2-a

神居村豎穴



1201-1-1-99-99-4



1201-1-1-99-99-5

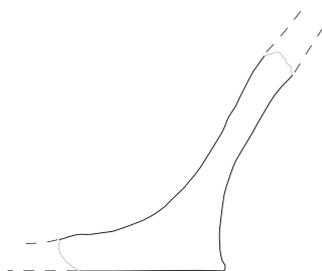


PLATE 2-b

神居村豎穴



1201-1-1-99-99-4



1201-1-1-99-99-5



PLATE 3-a

納内豎穴



1202-1-1-99-99-6



1202-1-1-99-99-7



1202-1-1-99-99-8



1202-1-1-99-99-9

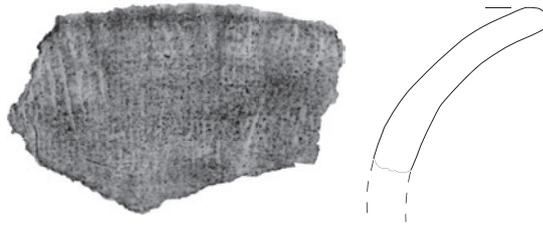


1202-1-1-99-99-10

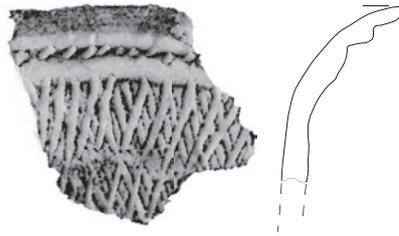


PLATE 3-b

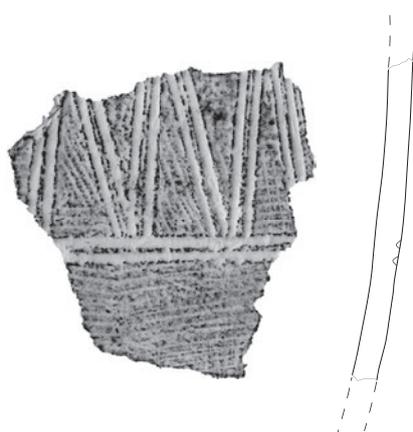
納内豎穴



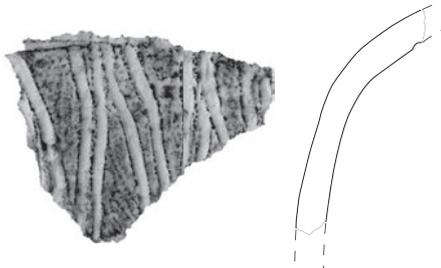
1202-1-1-99-99-6



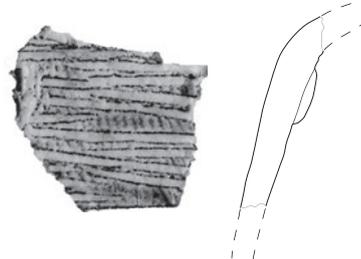
1202-1-1-99-99-7



1202-1-1-99-99-8



1202-1-1-99-99-9



1202-1-1-99-99-10



PLATE 4-a

遺跡不明 名寄



1203-1-99-99-4-11



1203-1-99-99-4-12



1203-1-99-99-4-13



1203-1-99-99-4-14

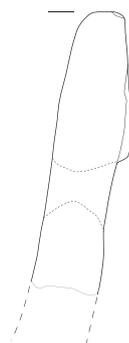


PLATE 4-b

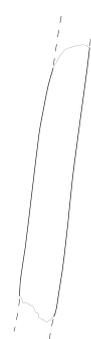
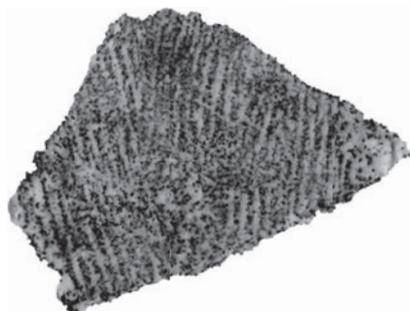
遺跡不明 名寄



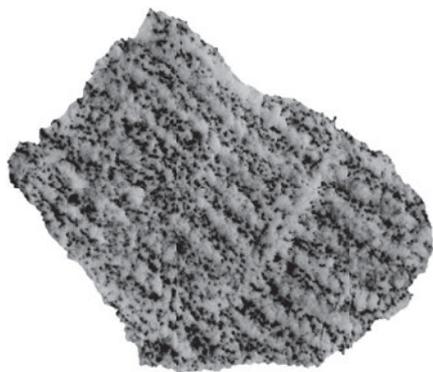
1203-1-99-99-4-11



1203-1-99-99-4-12



1203-1-99-99-4-13



1203-1-99-99-4-14



PLATE 5-a

遺跡不明 名寄



1203-1-99-99-4-15



1203-1-99-99-4-16



1203-1-99-99-4-17

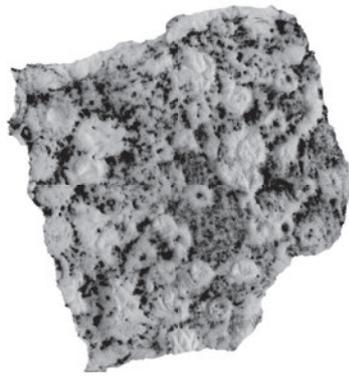


1203-1-99-99-4-18

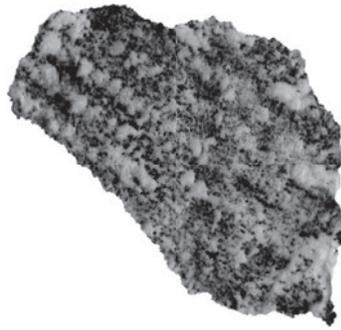
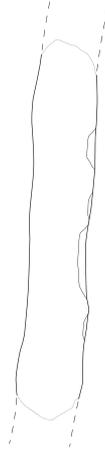


PLATE 5-b

遺跡不明 名寄



1203-1-99-99-4-15



1203-1-99-99-4-16



1203-1-99-99-4-17



1203-1-99-99-4-18



PLATE 6-a

遺跡不明 名寄



1203-1-99-99-4-19



1203-1-99-99-4-20



1203-1-99-99-4-21



1203-1-99-99-4-22



1203-1-99-99-4-23



1203-1-99-99-4-24



1203-1-99-99-4-25

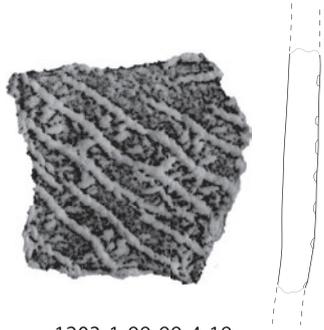


1203-1-99-99-4-26

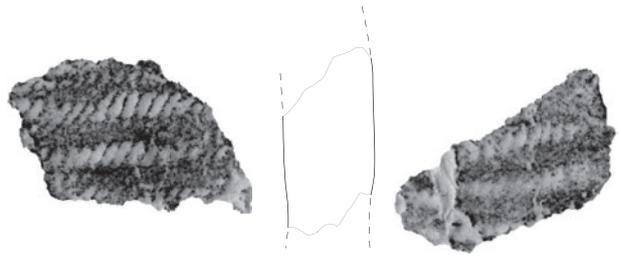


PLATE 6-b

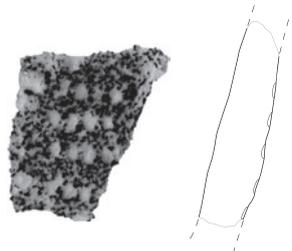
遺跡不明 名寄



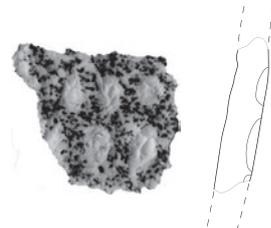
1203-1-99-99-4-19



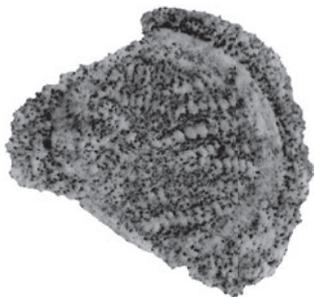
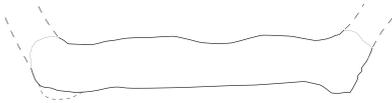
1203-1-99-99-4-20



1203-1-99-99-4-21



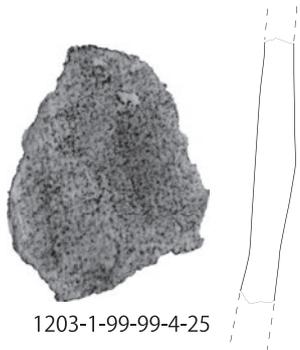
1203-1-99-99-4-22



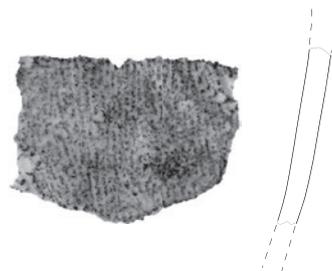
1203-1-99-99-4-23



1203-1-99-99-4-24



1203-1-99-99-4-25



1203-1-99-99-4-26



PLATE 7-a

名寄



1203-1-99-99-4-27



1203-1-99-99-4-28



1203-1-99-99-4-29



1203-1-99-99-4-30



1203-1-99-99-4-31

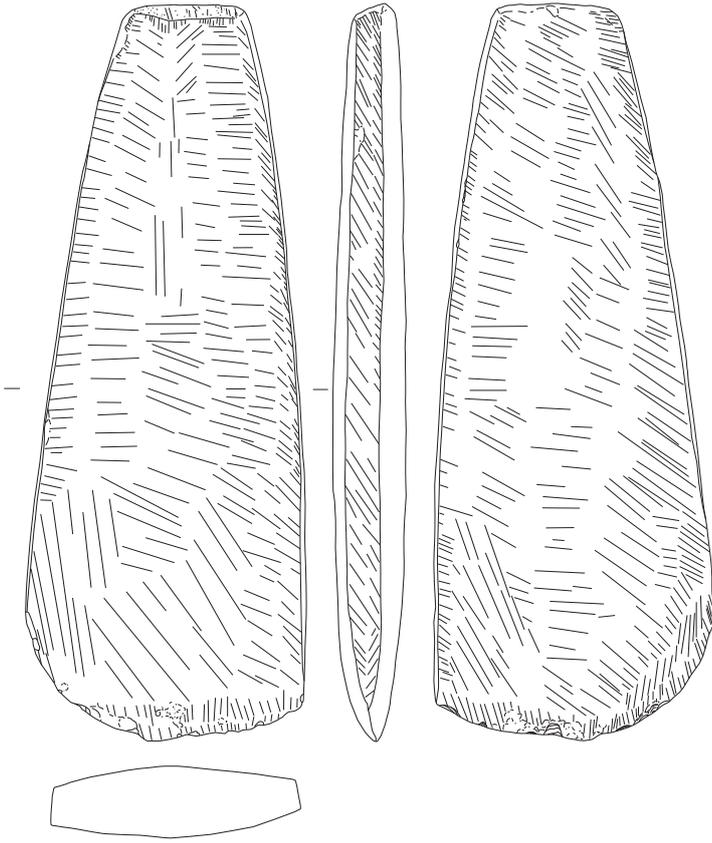


1203-1-99-99-4-32

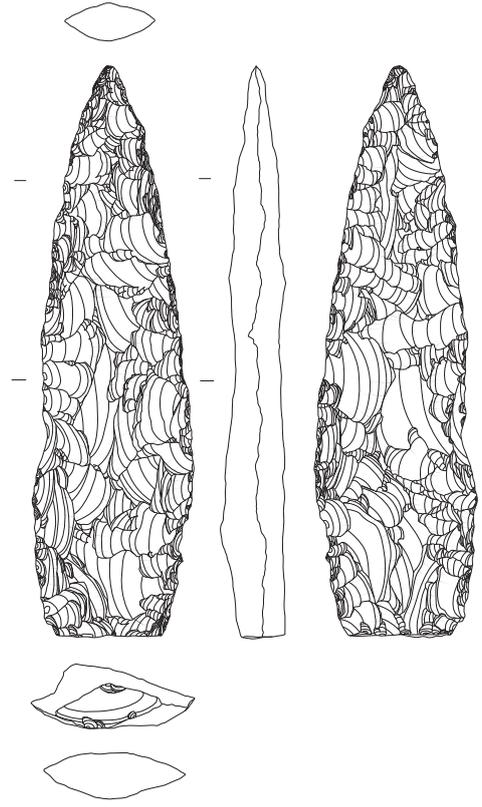


PLATE 7-b

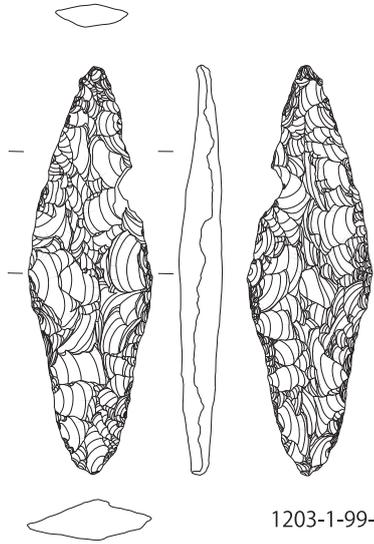
名寄



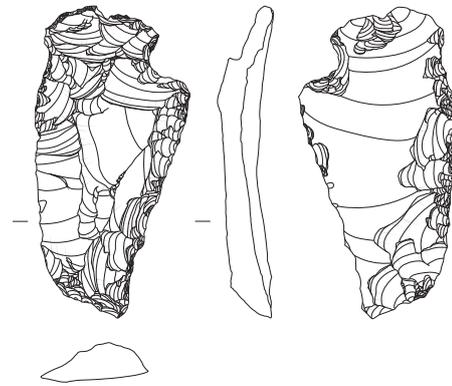
1203-1-99-99-4-27



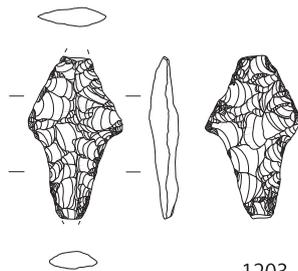
1203-1-99-99-4-28



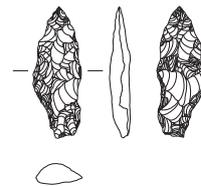
1203-1-99-99-4-29



1203-1-99-99-4-30



1203-1-99-99-4-31



1203-1-99-99-4-32



PLATE 8-a

遺跡不明 日進



1203-2-99-99-99-33



1203-2-99-99-99-34



1203-2-99-99-99-35



1203-2-99-99-99-36



1203-2-99-99-99-37



1203-2-99-99-99-38



1203-2-99-99-99-39



1203-2-99-99-99-40



1203-2-99-99-99-41

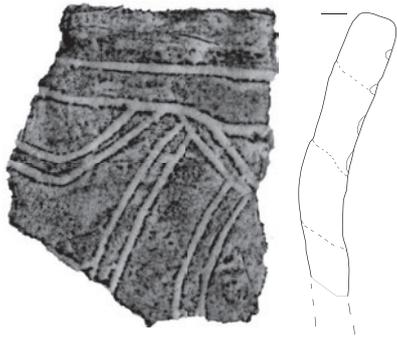


1203-2-99-99-99-42

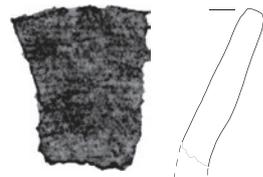


PLATE 8-b

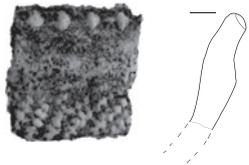
遺跡不明 日進



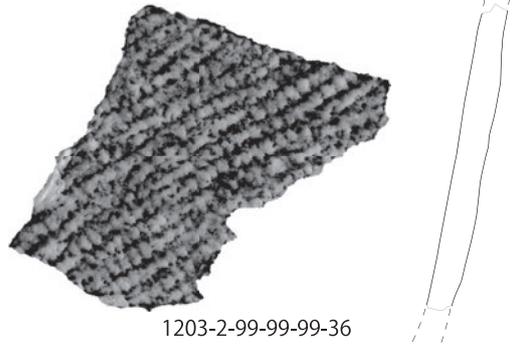
1203-2-99-99-33



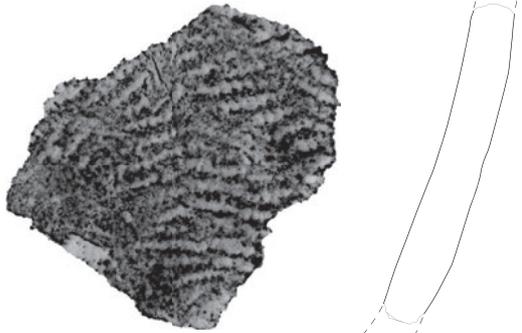
1203-2-99-99-34



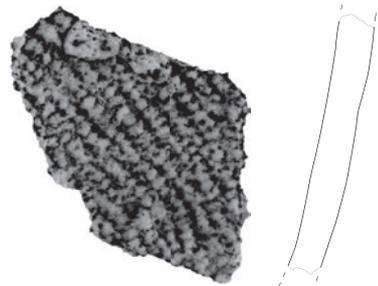
1203-2-99-99-35



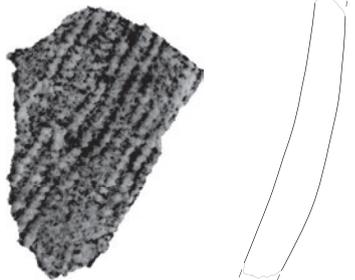
1203-2-99-99-36



1203-2-99-99-37



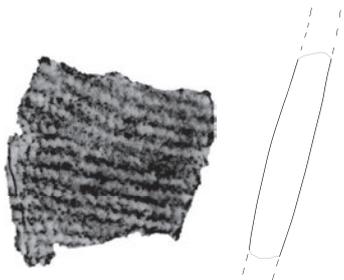
1203-2-99-99-38



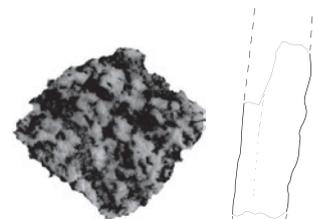
1203-2-99-99-39



1203-2-99-99-40



1203-2-99-99-41



1203-2-99-99-42



PLATE 9-a

日進



1203-2-99-99-99-43



1203-2-99-99-99-44

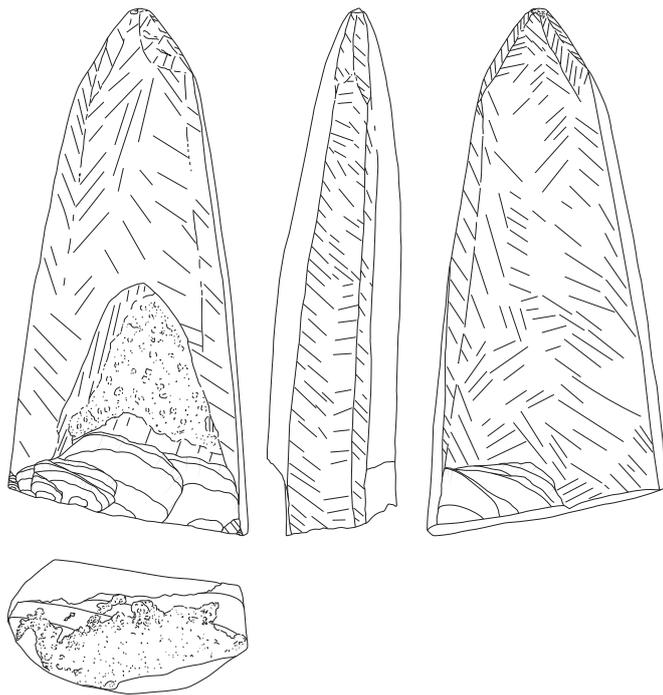


1203-2-99-99-99-45

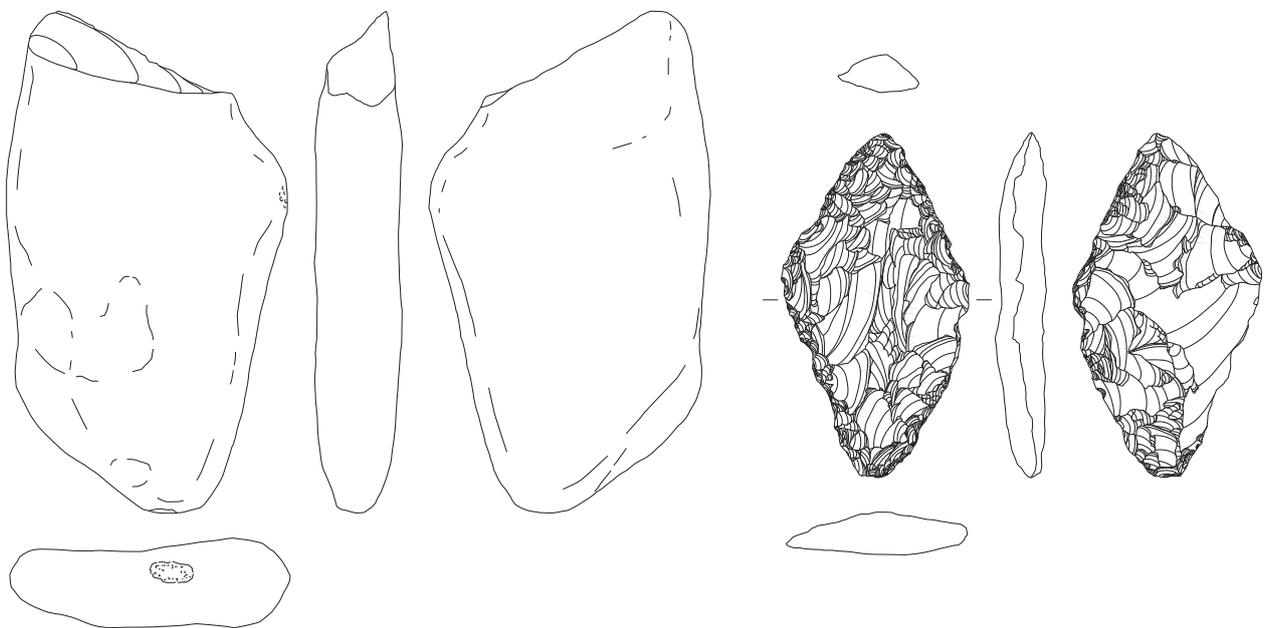


PLATE 9-b

日進



1203-2-99-99-43



1203-2-99-99-44

1203-2-99-99-45



PLATE 10

日進



1203-2-99-99-99-46



1203-2-99-99-99-47



PLATE 11

上川



1204-99-99-99-99-48



1204-99-99-99-99-49





1204-99-99-99-50





1204-99-99-99-99-51



PLATE 14-a

幕別・声問北



幕別 1404-1-1-1-99-52



幕別 1404-1-1-1-99-53

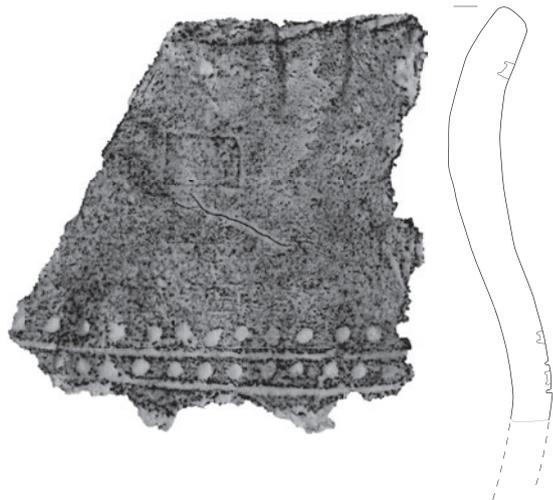


声問北 1404-1-1-1-99-54

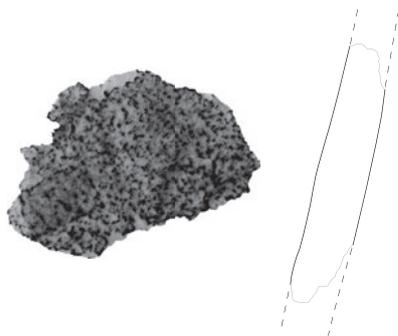


PLATE 14-b

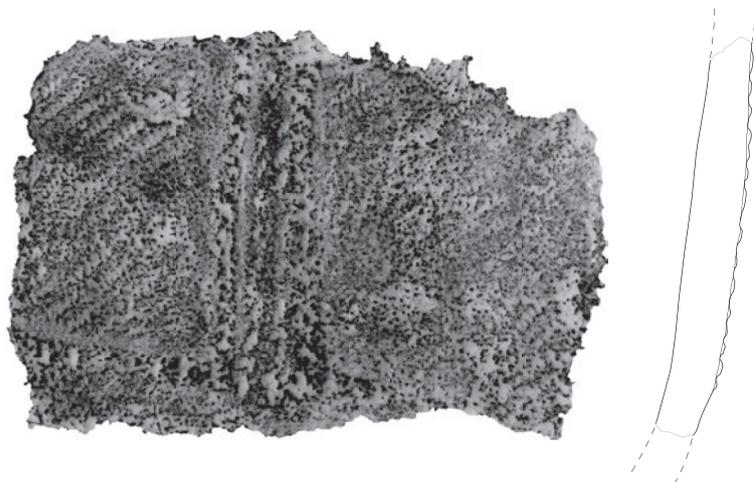
幕別・声問北



幕別 1404-1-1-1-99-52



幕別 1404-1-1-1-99-53



声問北 1404-1-1-1-99-54



PLATE 15

大岬



1404-3-99-99-99-55



1404-3-99-99-99-56



1404-3-99-99-99-57



PLATE 16-a

下幌別



1406-1-99-99-99-59



1406-1-99-99-99-60

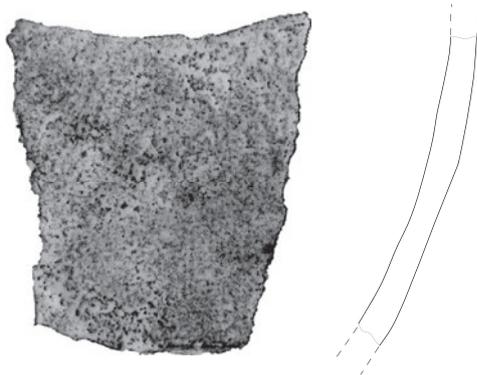


1406-1-99-99-99-61

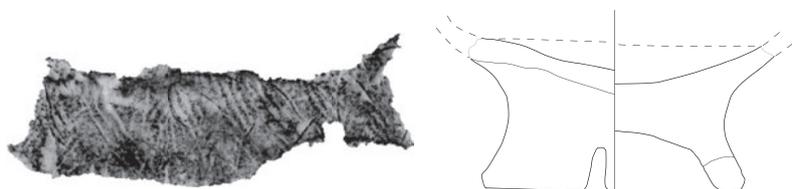


PLATE 16-b

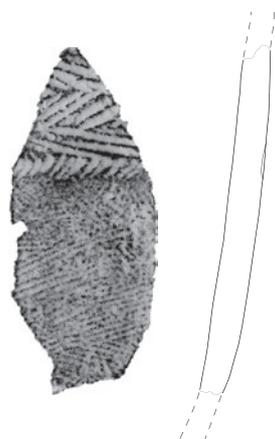
下幌別



1406-1-99-99-59



1406-1-99-99-60



1406-1-99-99-61



PLATE 17-a

ウエンナイ・不明



ウエンナイ 1406-2-99-99-99-62



ウエンナイ 1406-2-99-99-99-63

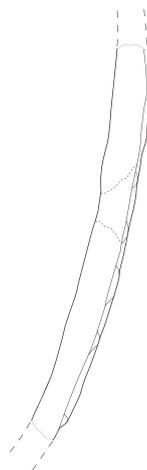
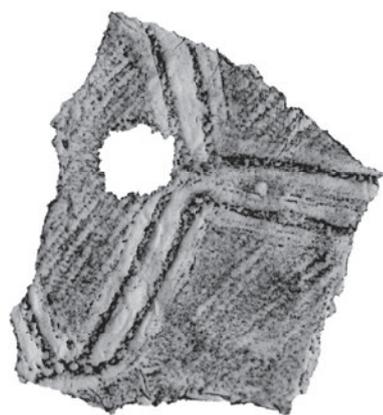


不明 9999-99-99-99-99-64

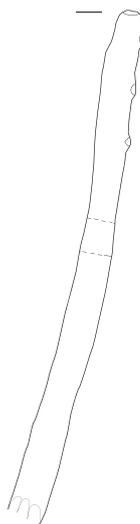
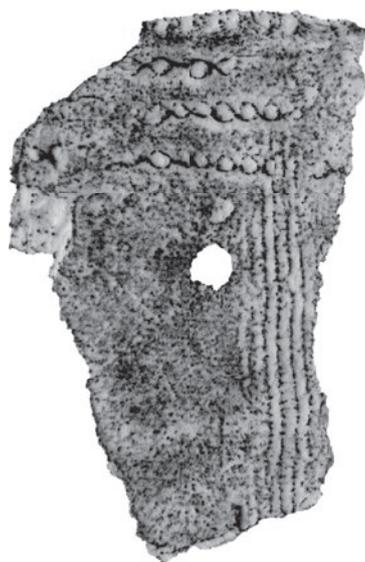


PLATE 17-b

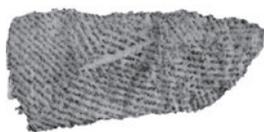
ウエンナイ・不明



ウエンナイ 1406-2-99-99-99-62

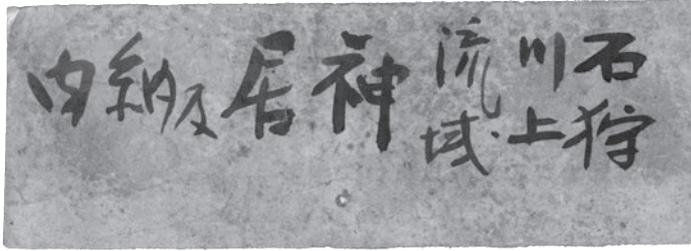


ウエンナイ 1406-2-99-99-99-63

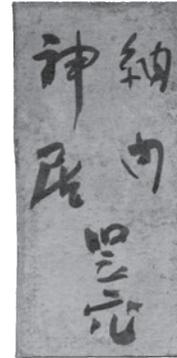


不明 9999-99-99-99-99-64

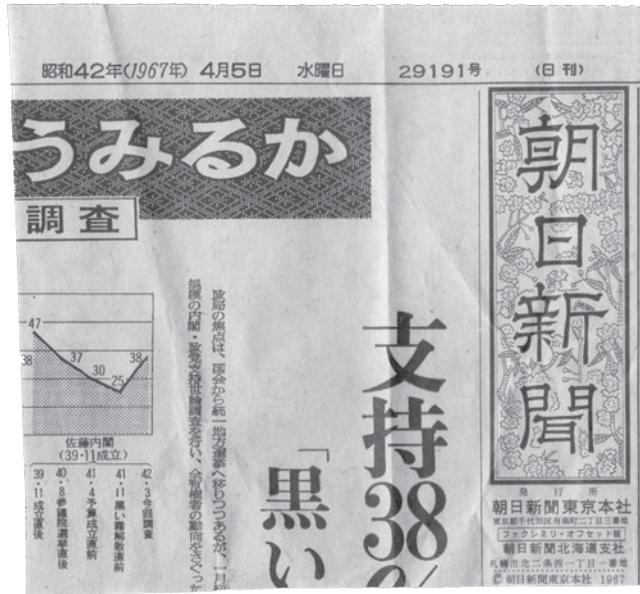




1



2

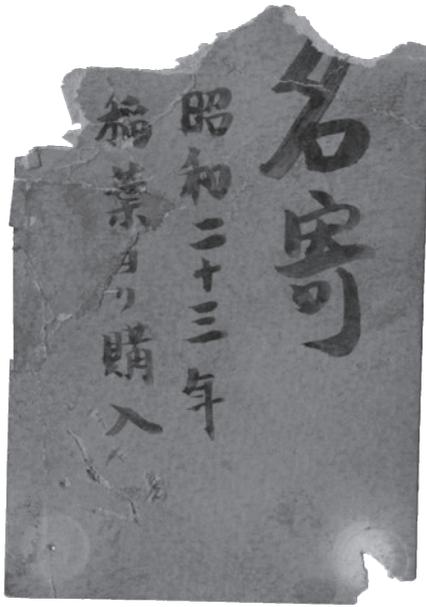


3(表)

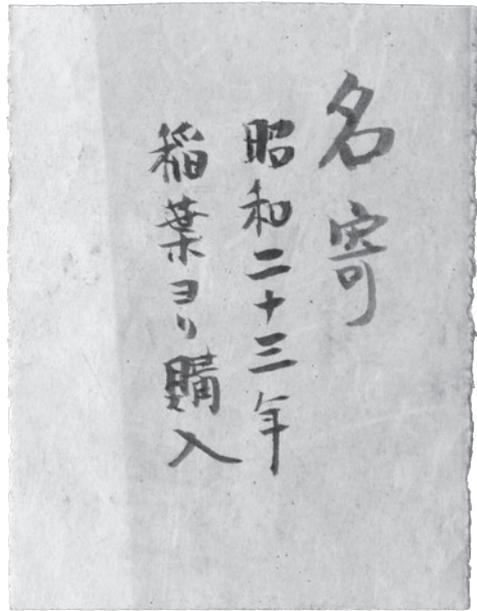


3(裏)





4



5



6(表)



6(裏)



表1 土器属性表

PLATE	遺物ID	遺跡名	地区名	地点名	種類	部位	内面	外面	胎土	備考
1	1201-1-1-99-99-1	神居村竪穴	神居	不明	捺文	胴部	ミガキ	刷毛目・多条沈線文		内面にラベル“石狩國上川郡神居竪穴”
1	1201-1-1-99-99-1	神居村竪穴	神居	不明	捺文	胴部	ミガキ	ミガキ		外面に朱書き“神居竪穴”、内面にラベル“神居村竪穴6.5.9”
1	1201-1-1-99-99-2	神居村竪穴	神居	不明	捺文	胴部	ミガキ・内黒	刷毛目・スス		二つに割れている。外面に“神居竪穴”の朱書き、内面に“石狩國上川郡神居村竪穴6.5.3”記載のラベル
2	1201-1-1-99-99-4	神居村竪穴	神居	不明	捺文	胴部	ミガキ	刷毛目・沈線文		内面にラベル“神居村竪穴6.5.9”
2	1201-1-1-99-99-5	神居村竪穴	神居	不明	捺文	底部	ナデ?	刷毛目		外面にササの葉痕、底面に“神居竪穴”の朱書き、外面にラベル“神居竪穴”と記載
3	1202-1-1-99-99-6	納内竪穴	納内	不明	捺文	口縁部	ミガキ・内黒	ナデ・刷毛目		外面に朱書き“納内”
3	1202-1-1-99-99-7	納内竪穴	納内	不明	捺文	口縁部	刷毛目・多条沈線文・短刻線文	刷毛目・多条沈線文		外面に朱書き“納内”
3	1202-1-1-99-99-8	納内竪穴	納内	不明	捺文	胴部	ミガキ	刷毛目・並行沈線文		内面にラベル“納内”
3	1202-1-1-99-99-9	納内竪穴	納内	不明	捺文	胴部	ミガキ・内黒	刷毛目・縦位の多条沈線	砂粒含む	外面に納内の朱書き、内面にラベル“納内”
3	1202-1-1-99-99-10	納内竪穴	納内	不明	捺文	胴部	ミガキ	刷毛目・多条沈線文		外面に“納内”の朱書き、内面にラベル“石〇〇内竪穴”(下半減)
4	1203-1-99-99-4-11	不明	名寄	不明	捺文	口縁部		刷毛目・沈線文	砂粒含む	口唇部を指頭押圧・購入
4	1203-1-99-99-4-12	不明	名寄	不明	捺文	口縁部		押型文	砂粒・雲母含む	購入・口唇部に押型文
4	1203-1-99-99-4-13	不明	名寄	不明	捺文	胴部	ナデ	刷毛目		購入
4	1203-1-99-99-4-14	不明	名寄	不明	捺文	胴部		刷毛目		購入
5	1203-1-99-99-4-15	不明	名寄	不明	捺文	胴部		竹筥文		購入
5	1203-1-99-99-4-16	不明	名寄	不明	捺文	胴部		刷毛目		購入
5	1203-1-99-99-4-17	不明	名寄	不明	捺文	胴部		無文		購入
5	1203-1-99-99-4-18	不明	名寄	不明	捺文	胴部	ナデ?スス	無文		購入
5	1203-1-99-99-4-19	不明	名寄	不明	捺文	胴部	スス	擦り糸文		購入
6	1203-1-99-99-4-20	不明	名寄	不明	捺文	胴部		刷毛目		購入
6	1203-1-99-99-4-21	不明	名寄	不明	捺文	胴部	ナデ?	刷毛目		購入
6	1203-1-99-99-4-22	不明	名寄	不明	捺文	胴部		刺突文		購入
6	1203-1-99-99-4-23	不明	名寄	不明	捺文	胴部		刷毛目		購入
6	1203-1-99-99-4-24	不明	名寄	不明	捺文	胴部	ミガキ・スス	刷毛目・沈線文		購入
6	1203-1-99-99-4-25	不明	名寄	不明	捺文	胴部	ミガキ?	ミガキ		購入
6	1203-1-99-99-4-26	不明	名寄	不明	捺文	胴部	ミガキ?・内黒	刷毛目		購入
6	1203-1-99-99-99-33	不明	日進	不明	捺文	胴部	ナデ	沈線文		購入
8	1203-2-99-99-99-33	不明	日進	不明	捺文	口縁部	ナデ	刷毛目		
8	1203-2-99-99-99-34	不明	日進	不明	捺文	口縁部	ナデ	刷毛目		
8	1203-2-99-99-99-35	不明	日進	不明	捺文	口縁部	ナデ	刷毛目		
8	1203-2-99-99-99-36	不明	日進	不明	捺文	口縁部	ナデ	刷毛目		
8	1203-2-99-99-99-37	不明	日進	不明	捺文	胴部	ナデ	刷毛目		
8	1203-2-99-99-99-38	不明	日進	不明	捺文	胴部	ナデ	刷毛目		
8	1203-2-99-99-99-39	不明	日進	不明	捺文	胴部	ナデ	刷毛目		
8	1203-2-99-99-99-40	不明	日進	不明	捺文	胴部	ナデ・スス	ナデ		
8	1203-2-99-99-99-41	不明	日進	不明	捺文	胴部	ナデ	ナデ		
8	1203-2-99-99-99-42	不明	日進	不明	捺文	胴部	ナデ	ナデ		
14	1404-1-1-1-99-92	幕別(現権内市憲北?)	幕別(現権内市憲北?)	A地点	オホーツク	口縁部	ナデ・スス	口縁下に凹形刺突文・胴部上半に2条の横走沈線と上の沈線を挟むように凹形刺突文列が2列めぐる		外面にラベル“幕別 A地〇”と記載
14	1404-1-1-1-99-53	幕別(現権内市憲北?)	幕別(現権内市憲北?)	A地点	オホーツク	胴部	ナデ	ナデ調整、縹文を地紋とし微隆起縹文上に縹線文		風化激しい。外面にラベル“幕別 A地点”と記載
14	1404-2-99-99-99-54	不明	声間北	不明	縹緋文	胴部	ナデ	ナデ調整、縹文を地紋とし微隆起縹文上に縹線文	砂粒含む	内面に北見園枝幸郡下幌別川口の記載
16	1406-1-99-99-99-59	不明	北見国下幌別川	不明	捺文	胴部	ミガキ	ミガキ・スス	砂粒含む	内面に北見園枝幸郡下幌別川口の記載
16	1406-1-99-99-99-60	不明	下幌別	不明	捺文	底部	ミガキ・内黒	刷毛目		底面上げ底、3カ所に切れ込み、底面に朱書き“北見国別川河口台”
16	1406-1-99-99-99-61	不明	北見国下幌別川	不明	捺文	胴部	ミガキ・内黒	刷毛目・沈線文		外面に朱書き“北見国下〇〇川?”と記載。内面にラベル“北見園下幌別川”

17	1406-2-99-99-99-62	不明	ウエンナイ(枝幸)	不明	縹縄文	胴部	ナデ・スス	縄文を地紋とし、微隆起縹文上に縹線文	砂粒含む	胴部に外径14mm内径6mmの穿孔。外面に“枝幸村ウエンナイ”と朱書き。
17	1406-2-99-99-99-63	不明	ウエンナイ(枝幸)	不明	縹縄文	口縁～胴部	ナデ	ナデ調整、上部に横方向に3列からなる列点文。口唇部にも同様の列点文	砂粒含む	胴部に径7mmの穿孔。外面に“枝幸村ウエンナイ”と朱書き。内面に“ラベル”枝幸村ウエンナイ”と記載
17	9999-99-99-99-64	不明	不明	不明	擦文	胴部	ミガキ	刷毛目・スス		

表2 石器属性表

PLATE	遺物ID	地区	器種	部位	最大長	長さ	幅	厚さ	重量	石材	観察
7	1203-1-99-99-4-27	名寄	磨製石斧	完形	151.07	150.64	49.38	15.21	224.2	泥岩	両刃の磨製石斧。刃部には使用時の衝撃によるものと見られる欠損と多数の潰れが観察できる。
7	1203-1-99-99-4-28	名寄	尖頭器	下部欠損	116.68	116.31	29.56	9.19	42	黒曜石	基部側を欠損した尖頭器。石器の表裏に対して、使用の際のものと思われる石器長軸方向の多数の傷と稜線の顕著な磨耗が見られる。
7	1203-1-99-99-4-29	名寄	尖頭器	完形	82.8	82.8	25.06	7.93	13.1	黒曜石	素材の表裏に対して両側縁からの平坦な剥離により器体の厚みを減じた後、器体周縁に急斜度の浅い調整を行うことで器体の整形をしている。基部の一部に角礫状の礫面が僅かに残る。
7	1203-1-99-99-4-30	名寄	つまみ付きナイフ	完形	63.67	60.86	26.28	6.83	14.9	黒曜石	縦長剥片素材。石器表面の右側縁には急斜度の刃潰し調整を行い、裏面の右側縁に対しては平坦な角度からの調整により刃部を形成する。
7	1203-1-99-99-4-31	名寄	石鏃	中間部	33.7	33.7	19.27	4.63	2.2	黒曜石	基部と先端部を欠損。表面は左右からの対向する剥離により入り込みに調整されるが、裏面は比較的粗雑な調整により製作される。
7	1203-1-99-99-4-32	名寄	石鏃	完形	26.74	26.74	10.24	3.67	0.9	黒曜石	左右非対称形の石鏃。石器の表裏に対して、器体の全周から平坦な角度からの調整を行い厚みを減じた後、急斜度の調整を基部付近に行いや「く」の字状に曲がった形状に仕上げている。
9	1203-2-99-99-99-43	日進	磨製石斧	下部欠損	110.15	104.63	39.52	24.06	188.9	緑色泥岩	刃部欠損。刃部欠後、欠損面を打面として調整を行い、その後敲打を行い刃部再生を試みているが、作業は途中で終了している。
9	1203-2-99-99-99-44	日進	たたき石	上部欠損	105.81	105.81	52.76	17.8	170	泥岩	長軸方向の末端部および端軸方向の右側の末端部に敲打痕が残る。
9	1203-2-99-99-99-45	日進	尖頭器	完形	70.22	70.22	36.88	9.08	20.1	黒曜石	縦長剥片素材。裏面に素材の主剥離面を大きく残す。素材の表裏に対して両側縁からの平坦な剥離により器体の厚みを減じた後、器体周縁に急斜度の浅い調整を行うことで器体の整形をしている。日進と読める白書の注記あり。

表3 動物遺存体属性表

PLATE	遺物ID	地区名	種類	動物種	部位	長さ	幅	厚さ	重量	備考
10	1203-2-99-99-46	日進	動物遺存体	海獣	椎骨	42.98	46.45	12.15	2.5	
10	1203-2-99-99-47	日進	動物遺存体	シカ	角	201.01	38.21	30.77	161.8	
15	1404-3-99-99-55	大岬	動物遺存体	海獣	骨片	79.6	36.12	5.69	11	
15	1404-3-99-99-56	大岬	動物遺存体	アシカ	歯	37.98	12.63	8.3	3.4	
15	1404-3-99-99-57	大岬	動物遺存体	イヌ	下顎	48.06	31.58	3.7	3.8	
-	1405-99-99-99-58	幌延	動物遺存体	不明	骨片				0.1g 以下	

表4 礫属性表

PLATE	地区	遺物ID	種類	石材	状態	長さ	幅	厚さ	重量	備考
11	上川	1204-99-99-99-48	礫	砂岩	円礫・完形	160.17	117.37	82.89	2326.6	
11	上川	1204-99-99-99-49	礫	泥岩	円礫・完形	140.08	69.76	43.59	799.1	
12	上川	1204-99-99-99-50	礫	珪化木	亜角礫・完形	203.55	76.25	50.16	1382.9	
13	上川	1204-99-99-99-51	礫	珪化木	亜円礫・完形	182.85	107.09	33.16	1025.1	「上川ニアリ 〇〇珪岩 vana〇〇〇〇〇〇」との墨書あり

Summary

The present catalogue is a compilation of the archaeological materials collected from various sites in northern Hokkaido, Japan. While some materials from the Nayoro City are purchased from a local individual (probably, by Drs. Sakuzaemon Kodama and Toshio Oba in the School of Medicine of Hokkaido University), origins of majority of the materials are unknown. The materials were collected at least prior to 1966 and some artifacts were presumably collected around 1941. These are 64 materials consisting of ceramic sherds (n = 45), lithic artifacts (n = 9), faunal remains (n = 6), and cobbles (n = 4). Based on the typology of ceramic sherds, they are attributed to various cultural periods, i.e., Jomon, Epi-Jomon, Satsumon, and Okhotsk cultural periods.

北海道大学所蔵
道北地方収集考古資料

平成 31(2019)年 3 月 29 日発行

発行元 北海道大学

〒 060-8638 札幌市北区北 15 条西 7 丁目
TEL 011-706-2196

編集者 澤井 玄、中沢祐一

印刷所 株式会社アイワード